

三陸創造プロジェクトについては、第２期復興実施計画期間における本格推進に向け、内容を具体化し、「復興実施計画（第２期）」に盛り込むこととしています

考え方

長期的な視点に立ち、世界に誇る新しい三陸地域の創造を目指す

特徴

横断性 目指す姿の実現に向け、10分野を超えて横断的に取組む
創造性 地域における新しい価値の創造を目指しながら、県民に夢と希望をもたらす取組として実現を目指す
独自性 三陸の産業や暮らし、歴史・文化、地理的条件などを踏まえ、三陸らしい地域資源や特性を最大限に生かしていく
長期性 より長期的な展望を踏まえ、計画期間を超えて継続的に取り組むべきもの
多様な主体との連携 多様な主体と連携していくという考え方にに基づき、幅広く意見や提言を伺いながら、具体化を進めていく

※ 岩手県東日本大震災津波復興計画「復興基本計画」より抜粋

現 状

中長期的課題

展開の方向

取組内容

『さんりく産業振興』

目 的 高い生産性と収益性を実現する農林水産業の振興、三陸地域の資源を生かした地場産業の振興や新産業の創出などにより、広く三陸地域全体の産業の振興を図る。

- 施設・設備等の復旧により事業の再開が着実に進展しているものの、業績の回復が遅れている
- 復興需要の偏りによる雇用のミスマッチや住居不足等により、労働力の確保が困難になっている
- 人口減少、高齢化の進展等による経済縮小や地域活力の低下等が震災でより一層顕在化している
- 以上のような状況から産業の復興は力強さに欠けている

- 農林水産物の高付加価値化、産地の競争力強化
- 持続可能な地場産業の育成と振興
- 地域資源を活用した新たな産業の創出
- 地域の産業を支える人材の育成

生産性の向上・高付加価値化の推進

新産業の創出

産業を支える人材の育成

水産業の生産性向上・高付加価値化／地域産業と連携した6次産業化の展開ものづくり企業の競争力強化

次代につながる新たな産業の育成／起業の総合的支援
再生可能エネルギーの導入、施設の立地促進

農林水産業の再生／女性リーダーの育成
ものづくり企業の技術力・競争力強化

目指す姿 地域特性を生かした付加価値の高い農林水産物、製品・サービスを生み出す産業が成長するとともに、起業や新産業の創出によって地域経済に新たな活力が生み出され、三陸らしい個性豊かで競争力のある産業の構築

長期的な視野に立って具体化を目指すもの
・三陸いわて「ならでは」ブランドの確立
・恵み豊かな三陸の「海」を活用した新規ビジネスの創出

・良質な農林水産物や加工品等の食料品輸出の拡大

『新たな交流による地域づくり』

目 的 復興活動を契機とした交流人口の拡大や、自然環境、地形・地質、文化遺産、伝統芸能などを生かした新たな岩手ファンや観光客などとの交流拡大により、三陸地域における一層の観光振興、定住・交流の促進を図る。

- 少子高齢化の進展により、地域コミュニティ活動の担い手が不足
- 個人の価値観の変化により地域の連帯意識が希薄化
- 復興支援活動を通じて、他の地域との交流が拡大
- 大震災・大津波という地球活動の痕跡を生かしたジオパーク構想への関心
- 平泉の文化遺産の世界遺産登録を契機に岩手の歴史・風土が改めて見直されている

- 地域住民が主体となった、三陸ジオパークの魅力発信への取組み
- 将来の地域コミュニティ活動を担う若手人材の流失
- 交流人口の確保に向けた継続的な取組

三陸ジオパークの推進をはじめとする三陸地域の魅力創造と発信

地域コミュニティの活性化

地域資源を生かした観光振興

世界遺産登録の推進をはじめとする文化遺産や伝統芸能の継承

三陸復興国立公園と連携した観光振興・交流人口拡大の推進
世界ジオパーク認定を目指した取組の推進

震災を契機とした交流人口の拡大／地域資源と外部人材の活用推進
伝統文化・芸能継承／国際化推進／若者・女性が活躍する地域づくり
体験・滞在型観光の展開／教育旅行の誘致促進
震災遺構を活用した復興ツーリズム／海岸風景の再生
橋野高炉跡・御所野遺跡の世界遺産登録に向けた取組推進
伝統文化・芸能継承／平泉の理念普及

目指す姿 三陸ジオパークなど豊かで多彩な自然環境や、三陸地域における歴史文化、地域資源を最大限活用するとともに、その魅力をさらに高めることにより、国内外からの定住・交流人口の拡大による活力みなぎる地域づくり

長期的な視野に立って具体化を目指すもの
・2016年いわて国体を契機に、スポーツを通じた交流人口拡大のため、国際的なスポーツ大会を誘致
・復興の姿を世界に発信し、三陸に多くの人を呼び込む大規模イベントの開催検討

『東日本大震災津波伝承まちづくり』

目 的 東日本大震災津波により犠牲となった方の故郷への思い経験を確実に次世代に継承、その教訓を「防災文化」として将来に生かし、災害に強いまちづくりを推進する

- 震災は多くの尊い人命や財産を奪ったが、復興に当たってはこの悲惨な経験を生かし、悲劇を二度と繰り返さない災害に強いまちづくりが求められている。

- 児童、生徒の避難行動などから防災に関する教育の重要性が再認識されている。

- 大震災津波の記憶の風化防止
- 地域の歴史と文化を踏まえたふるさとづくり
- 災害に強いまちづくり

目指す姿 時間の経過とともに薄れゆくであろう大震災津波の記憶や教訓の、次世代への確かな継承・伝承
将来を担う子どもたちの防災教育や、防災に関する啓蒙活動による地域防災の意識高揚による防災力の強化
防災・減災に配慮した「災害に強いまち」や、防災文化を醸成し地域の歴史や文化を踏まえた魅力ある「ふるさとづくり」

記録の蓄積と経験の継承・伝承

メモリアル公園整備

総合的な防災力の強化

復興を担う次世代の人材の育成

災害に強く魅力あるまちづくり

復興記録誌の発行／デジタルアーカイブ化／ウェブによる情報発信
震災語り部の育成／コミックいわてWEBによる情報発信
追悼と鎮魂、津波防災地域づくりの拠点となるメモリアル公園の整備推進
防災教育の推進／防災文化の醸成／既存施設を活用した広域防災拠点の整備
地域防災サポーター登録制度の活用／自主防災組織の育成強化
いわての復興教育による学校教育の充実
防災機能を強化した教育施設の整備
災害に強く快適で魅力あるまちづくり
三陸鉄道各駅にふるさとへの想いを込めた記念オブジェ制作

長期的な視野に立って具体化を目指すもの
・過去の教訓が生かされている良い事例に学び、記憶と経験を確実に継承・伝承できるしくみづくり
・ひとづくりによる防災力強化のため、防災意識を持った人材を育成する防災教育の普及

『さんりくエコタウン形成』

目 的 三陸の地域資源を活用した再生可能エネルギーや省エネルギー技術の導入を促進し、災害にも対応できる自立・分散型のエネルギー供給体制を構築することにより、環境と共生したエコタウンの実現への取組を推進する。

- 東日本大震災津波では、長期間にわたる停電・ガソリン等燃料の不足がもたらされ、地域資源を活用したエネルギー確保のための方策が求められている。
- 一方、三陸には木質バイオマス、太陽光、風力・波力等の再生可能エネルギーが豊富に賦存している。

- 再生可能エネルギーの導入による自立・分散型エネルギー供給体制の構築に向けた実証モデル事業を足掛かりとして、その取組を沿岸地域中心に広く県内に展開

再生可能エネルギー導入促進

エコタウンの普及啓発

スマートコミュニティの形成

環境エネルギー研究開発促進

住宅・防災拠点への導入促進／エネルギー供給体制の構築
大規模発電施設立地促進／洋上風力発電事業化推進／木質バイオマス活用
ポータルサイトによる情報発信／セミナー・勉強会の開催
モデル検討／地熱開発に係る基礎調査
環境に配慮したまちづくり／次世代自動車充電インフラ整備等による
地域内の低炭素化の促進／スマートグリッド構築に向けた環境整備
海洋エネルギー実証フィールドの誘致
実証フィールド運営体制構築／企業誘致／プロジェクト導入

長期的な視野に立って具体化を目指すもの
・太陽光や風力での発電など、再生可能エネルギーを効率よく活用した環境配慮型まちづくりの取組推進
・各地域における環境未来都市、環境未来都市先導的モデル等の構想の支援体制の構築

『国際研究交流拠点形成』

目 的 三陸地域における資源や潜在的な可能性を生かし、国際的研究プロジェクトの実現や、海洋研究の研究者等の調査・研究活動の促進などを通じて、三陸から世界をリードする国際研究拠点を形成する。

- 国は、ILC計画の実施の可否判断について集中的な調査、検討を進めていく見込み。
- 「いわて海洋研究コンソーシアム」による連携活動を実施。
- 国レベルでの海洋生態系や水産復興の研究が展開。
- 海洋再生可能エネルギー実証フィールドの誘致に向けた地域の受入環境整備に取組む。
- 東北大学に「災害科学国際研究所」が、岩手大学に「地域防災研究センター」が設置された。

- 国民的な理解を得て、国のILC計画実現に向けた方針決定が必要。
- 国際学術研究都市を形成するための環境整備。
- 海洋、水産研究で得られた成果の県民への周知や水産業等地域産業へのフィードバック。
- 海洋エネルギーの研究・導入には、漁業等海域利用者との調整や共生が必要。
- 各研究分野の連携を進めるためのコーディネート機能が必要。

ILCを核とした国際学術研究都市の形成

海洋生態系・水産等研究の推進

海洋再生可能エネルギー実証フィールドの誘致

洋上ウィンドファームと漁業協調

国におけるILC建設方針決定／ILC建設に向けた基礎調査
国際学術研究都市の形成／まちづくり等の調査研究

いわて海洋研究コンソーシアム活動の強化／海洋研究連携体制構築
海洋生態系・水産関係研究成果の地域還元

海洋エネルギー実証フィールドの誘致
実証フィールド運営体制構築／企業誘致／プロジェクト導入

漁業協調型の構築（地域研究会活動）
企業誘致／運営体制の構築

目指す姿 三陸のリアス式海岸や世界有数の漁場等の海洋環境や北上山地の強固な岩盤などの研究フィールドとしてのポテンシャルを生かし、地域の国際化を図り、国内外の第一線の研究者が集まる国際的研究拠点を構築することにより、岩手から世界に貢献するグローバル人材の輩出を促すとともに、新たな先端科学技術産業圏の形成

長期的な視野に立って具体化を目指すもの
・国際学術研究都市の形成とそれを支える人材の育成
・関連産業の集積による新たな産業圏の形成
・新産業への創出へつなげる「知識」「技術」の戦略的な発掘、育成